



消防団広報



消防団は地域防災の要です

新しい力 新人教育

四月二十一日

長島防災コミュニティーセンターにて、新入団員教養訓練が実施されました。柴田団長から団員の心構えを学び、規律訓練、器具取扱訓練を行いました。

まず活動するにあたって「自分たちのまちは自分たちで守る」という団長の想いのつまった言葉をいただき団員としてまちを守る理念を学びました。

規律訓練では、統率のとれた行動ができるよう団員一人一人が規律を守り、災害時に求められる素早く正確な動きをするための訓練や、式典での礼式を行いました。訓練だけではなく、普段の生活で突然災害が襲ってきた慌てることなく正確な行動ができるように考えて取り組みました。

器具取扱訓練では、ホースの正しい取り扱方や取り扱う上での注意点を教えていただきました。さらに訓練することによって実戦で乱れがでないよう繰り返し練習をして、その都度丁寧に指導していただき、精度を上げていくことができました。

今回の訓練で消防団員としてのスタートラインに立つことができました。今回学んだことを今後の活動に活かすことが「自分たちのまちを守りたい」という住民の想いを背負う新入団員たちの役割だと思います。

第二十九号 二〇一三年十一月
編集・発行
桑名市大字江場七番地
桑名市消防団 企画情報部会

水防訓練

五月十九日

桑名市水防訓練が、長島運動公園にて、桑名方面団、多度方面団、長島方面団が一同に揃い水防計画に基づき、近年発生しているゲリラ豪雨による洪水を想定し、新市長の



伊藤徳宇水防対策本部長の要請で実施されました。

市土木課より支給された救命胴衣を着用し、消防本部・消防団による、水防作業の基礎となる土のう作りを行い、その後、長島方面団による堤防表面の崩壊を防止する竹流し工法、桑名方面団・長島方面団による堤防裏法の平地に

発生した漏水箇所を崩壊防止する釜段工法、多度方面団・桑名方面団による堤防法面の漏水より崩壊を防止する月の輪工法、桑名方面団による流水での堤防表面の崩壊を防止するシート張り工法、最後に消防本部・消防団による堤防より越水を防止する積土のう工法を実施しました。

昨年九月の集中豪雨では、市内でも被害がありました。様々な水災害に備え洪水即応の作業能力向上に努め、水防体制の万全を期して行かなければならないと痛感致しました。



幹部視察研修

六月一日・二日



消防団幹部研修として「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」と「関西国際空港」を視察しました。

「人と防災未来センター」では、震災直後の街並みをジオラマ模型でリアルに再現された展示物や、地震破壊のすさまじさを大型映像と音響で体験できるコーナーなどを見て回ったり、自らの震災体験を語る『語り部』の方から震災当時の貴重なお話を、聞か

新任紹介

四月一日付けにて一部分団長が新任され辞令が授与されました。

桑名方面団
第一分団 中川 正
多度方面団
第一分団 加藤 寛之
第二分団 伊藤 剛
第四分団 石川 正司
長島方面団
第三分団 伊藤 太郎
第五分団 日紫喜 智洋



せて頂く事が出来ました。又、「関西国際空港」では、通常は立ち入る事が出来ない特別エリア（保安区域）を見学して来ました。今回の研修を活かして今後の防災体制に万全を期していきたいと思えます。

長島方面団

消防技術競練会

三月二十四日

平成二十四年度最後の行事として「消防技術競練会」が長島防災コミュニティセンターにおいて開催され、全九個分団（班）が日頃の成果を發揮しました。

この競練会は礼節・規律を正すと共に、団結をより強固



なものとすることを目的として行われました。

第一訓練（訓練礼式）に関しては、停止間における各個訓練及び行進間における小隊訓練を行い、分団ごとに消防団員としての規律に関わる訓練を行いました。十種類以上の号令をかけ、さらに小隊訓練では、決められた範囲内での行動を重視し全体でのタイムを三分以内として分団（班）ごとに規律・節度・指揮・号令等かけかた及び部隊行動の的確性について審査されました。

そして第二訓練（火災想定）は、現状火災が想定されたことに対して指揮者及び各団員がその場に応じた行動を訓練するために実施されました。指揮者以下六名が一チームとなり長島町地内において建物火災が発生した状況を想定し、安全管理の元、火点までのホース

延長を行い、隊員間の連絡連携及び指揮者の指示の的確性について審査され、総合点により順位がつけられました。結果は次のとおりでした。

優勝 第五分団
準優勝 機動分団中部班
三位 第二分団

惜しくも上位入賞を逃した分団（班）は、来年の優勝に向けてのことにもさることながら団員としての職務として桑名市民の生命と財産を守るために今後の活動に誠心誠意勤めていこうと団員一同決意を新たにしました。

最後に訓練の準備、指導及び助言、当日の審査等を行っていたいただきました長島木曾岬分署の方々に感謝申し上げます。



多度方面団

規律訓練・水防訓練

四月二十八日

多度町総合支所駐車場において、規律訓練・水防訓練を実施しました。

消防の任務を遂行するためには、厳正な規律の保持と迅速での確な秩序ある行動が必要とされるため、消防団員は訓練礼式（規律訓練）を習得します。

訓練礼式（規律訓練）では、停止間動作、駆け足呼称等を行い、大きな号令と掛け声が終始響きわたっていました。

水防訓練では、出水期（梅雨時の大雨や台風時期）に備え「積み土のう工」を習得しました。

団員は、実践さながらの真剣な表情で、たっぷり汗を流しな



がら訓練に取り組みました。

桑名方面団

春季教養訓練

三月二日

揖斐川堤防河川敷にて遠距離中継放水訓練、規律訓練、救命胴衣取扱訓練を行いました



た。

大規模災害時においては水
利が容易に取れなくなる事を
想定し遠距離放水訓練を行
いました。消防団車両5台を使
い、各車両が防災無線で連絡
を取り合いながら中継放水を
しました。

規律訓練は、分団幹部の指

揮号令で各個、

部隊訓練を行い、
救命胴衣取扱訓
練は、救命胴衣
装着要領、救助
時の自己確保ロ
ープ作成及び確
保要領を各自行
いました。

遠距離中継放
水訓練において
は、風、ポンプ
の騒音等で円滑
な無線連絡がで
きなかったよう
です。大切な訓
練でもあるので
今後定期的に
実施していく必
要があると思
います。

応急手当指導員

四月七日 十三日 二十八日

消防本部において、二十四
名(女性消防団一名)が応急
手当指導員講習Ⅱを受講しま
した。

応急手当指導員講習Ⅱは、
一日八時間の講習を三日間、
計二十四時間の講習を受講し
て応急手当指導員の資格が取
得できます。取得した団員は
普通救命講習、上級救命講習、
自主防災訓練で講習の指導に
あたることを目的にしていま
す。

初日午前中は、座学で心肺
蘇生法とAEDの使用手順の
講義を受け、午後の前半は、
人形、AEDを使用して、①
反応(意識)を確認する、②
助けを呼ぶ、③呼吸の確認、
④胸骨圧迫、⑤人工呼吸、⑥
心肺蘇生(胸骨圧迫と人工呼
吸)の継続、⑦AEDの使用、
という救命処置の一連の実技
を行い、後半は二人一組にな
り、一人が指導員役になって、
心肺蘇生法の指導を体験しま
した。

二日目午前中は気道異物の

除去、口や喉などに
異物(食物など)が
詰まっている場合に
異物を取り除く方法
を受講しました。

①腹部突き上げ法、
②背部叩打法を学び
ました。午後は止血
法、その他応急手当
の受講、①担架搬送
法、応急担架を毛布、
竹棒を利用して応急
担架の作り方、②担
架を用いない搬送法
(徒手搬送法)一名
で搬送する方法、二
名で搬送する方法、
三名で搬送する方法、

③出血時の止血法、三
角巾を使用して止血する方法
を学びました。

最終日は初日、二日目に行
ったAED、心肺蘇生法、一
人で搬送する方法、三角巾を
使用した止血法、捻挫、骨折
した部分を固定する方法を復
習し、その後今回の目的であ
る、指導者としての技術の向
上をめざして講習に取り組み
ました。

最後は今回学んだことにつ
いて、ペーパーテストがあり、



全日程を終了しました。
今回講習の指導を担当して
頂いた方は、救命救命士の小
林さん、消防課の杉山さん
森さん、村上さんの以上四名
でした。



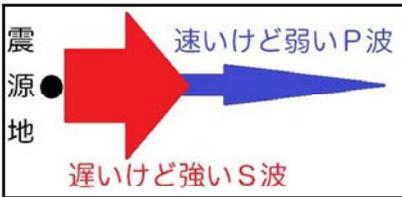


◆◆◆◆ 特集：緊急地震速報 ◆◆◆◆

緊急地震速報って何ですか？

8月8日の夕方、携帯電話が聞き慣れない音で鳴り、ビックリした人は多いと思います。それは、「緊急地震速報」を知らせる警報音でした。他にもテレビやラジオで、見たり聞いたりした人も多かったと思います。さて、緊急地震速報とは何なのでしょう？

どういう仕組みなの？



地震は、震源から揺れが波となって広がっていきます。その波には「速いけど弱いP波」(初期微動)と「遅いけど強いS波」(主要動)が含まれているので、二つの波の速度差による時間差を利用しています。

全国各地にある地震計が、先に届いた弱いP波をキャッチし、後から来るS波の強さなどを瞬時に計算して、大きな揺れの

S波が来ると予想される時や場所を、様々な手段で知らせるのが気象庁の提供する「緊急地震速報」なのです。

緊急地震速報を知らせる手段には、テレビ、ラジオ、携帯電話、防災行政無線、館内放送、専用の受信機等があります。どんな音で鳴るのか、知っておくことも大切です。



速報が出たらどうすればいいの？

仕組みからわかるように、**すでに地震は発生しています**。数秒後か数十秒後には、強い揺れがやってくるのです。どこか離れたところへ避難している時間はありません。

その場で、あわてずに身の安全を確保しましょう。

・室内では、あわてて外へ飛び出さない。無理に火を消そうとしない。丈夫な机の下などにかくれましょう。



・人がたくさんいる施設の中では、あわてて出口へ向かわない。係員の指示に従いましょう。



・エレベーターでは、全ての階のボタンを押せば、最寄りの階で止まります。すぐに降りましょう。



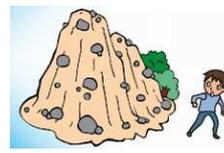
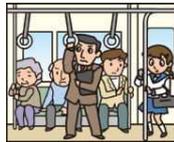
・自動車の運転中は、ハザードランプをつけて、まわりに異常を知らせながら、ゆっくりと速度を落としましょう。



・屋外では、倒れそうなものや、落ちてきそうなものがないか、崖崩れの心配はないか、注意して下さい。



・鉄道やバスでは、手すりやつり革にしっかりつかまりましょう。



ビルなど丈夫そうな建物がそばにあれば、その中へ避難しましょう。

とにかく、身の安全確保を

8月の緊急地震速報は誤報でした。しかし、機械には誤動作はつきものです。

もし、緊急地震速報を見聞きした時には、「**誤報かな？**」と疑わないで、ほんの数十秒ですから、真剣に身の安全を確保するように心がけましょう。

また、お家の中や職場など、過ごす時間の長い場所では、速報を知った時にはどのように行動するかを、普段から決めておくとも良いですね。 ※参考資料・引用：気象庁ホームページ



女性消防団の活動はブログでもご覧いただけます。[桑名市女性消防団](#) 検索 ←クリック!

年末特別警戒



市内の巡回広報や、警戒中の分団の陣中見舞いをしています。

出初め式



女性消防団が先頭で入場行進します。

文化財防火デー消防訓練



初期消火と避難の訓練指導をしています。

秋の火災予防運動

独居老人宅訪問や巡回広報をします。

毎月19日は

火災予防巡回広報



全国大会



全国から集まった女性団と交流・情報交換を行っています。今年は高山市で開催。

女性消防団はこんな活動をしています



桑名リバーサイドマラソン



救護支援しています。

自主防災訓練



各地で心肺蘇生法や、身近なものの応急手当の指導をします。

各地で心肺蘇生法や、身近なものの

現在、団員10名で活動中!

心肺蘇生法の指導に使っている布ポスターですー



春の火災予防運動

独居老人宅訪問や巡回広報をします。

平成25年秋



炊き出し訓練



災害時の後方支援のために。

市長カフェ



伊藤市長と対談。乾パンスイーツの試食もしましたよ。

消防体験キッズ



紙芝居やゲームで防災教育です。

水防訓練



私達も、土のうを作ります。

団員募集中

お問い合わせ先
桑名市消防本部 総務課
TEL24-5274



新入団員紹介



岡田正子

(多度在住)

ケアマネージャーという仕事柄、高齢者と接する機会が多く、救急車を呼ぶ場面もありました。そんな時の自分の対応に疑問を持っていた頃に、元消防団員の方とお目にかかる機会があり、楽しく充実していた団活動の話をお聞きし、「五十代になっても何かにチャレンジしよう!」と思っていました。気がよみがえり、入団を決めました。



金子ひとみ

(在良在住)

以前、三年程在籍していましたが家庭の事情で退団しました。今は、子供達も成人し、手が離れましたので、気持ちを新たに、桑名市の為に微力ではありますがお役に立ちたいと思い、再入団しました。